

# やつおもて

第15号 (2017年5月)  
編集発行：和田公民館  
協力：公民館運営推進委員  
電話：(45-1918)  
eメール:wada-k@ph-hamada.jp

## ～和田地区いろいろ見て歩く記～

さくら～さくら～

やよいのそ～ら～は



み～わ～た～す

か～ぎ～り



ようやく本格的な春が訪れました。町じゅうに桜や桃、水仙、レンギョウなどが咲き乱れ、田んぼには水が張られ、ツバメが飛び交う姿が見られるようになりました。皆さんの春の一押しは何でしょう？聞かせて下さいね。(つぬ)

【和田の歴史コーナー】 今回は、和田地区の神社紹介②です。

《和田山辺神社》

- ◆鎮座地 現在和田八幡宮境内
- ◆祭神 布都御魂剣大神
- ◆創建 652年(白雉3年)
- ◆由緒

・現在那賀郡内に山辺神社が4社ある。その鎮座地は、郷田の山辺山、跡市の平田島屋、嘉久志の戸山、和田の八色山で、前者は、いずれも現江津市である。

・社伝によると、この神社は、652年(白雉3)7月、山根好兼が大和国山辺郡石上神社から、祭神布都御魂剣大神を勧請したものである。なお、「和田山根家系譜の略記」に益田兼高の「母石見国那賀郡和田村山辺神社々司の娘」とあり、兼高の四男好兼の条下に次の記述がある。

「山根家の祖、左京之進、佐兵衛、家紋一久、寛元3巳年(1245)死す。和田村山辺神社神主山辺某の家をつぎ、丸原に住す。然るに社頭に奉仕するに不便なるをもって還元2辰年和田村に移る。その跡を世俗に大宮地という。今依然名称残れり。もと山辺は社号と同じきをはばかり山根と改む。領主福屋家の偏名兼の字を賜る」

・1908年(明治41)9月18日許可を得て、和田八幡宮社殿の左側に山辺神社の本殿及び拝殿がつくられ、翌42年9月18日遷宮が行われた。

・西田浜市(明治33年11月19日生)の言によると、現在遠藤幸雄(屋号八色)の所有田になっている、約0.4アールの水田が昔からの御供田で、この田には昔から牛を入れず、肥料として糞尿を使わず、女人は耕作に携わっていない。その伝統は、今日なお、遠藤家によって継承されている。この田で作った白米一升を粉にし、毎年8月7日と11月9日の大祭には、神社で焼き団子に作って、神に備えている。これまた、屋号八色の当主がつくるという伝統を崩すことなく継承していて、女人には手を加えさせていない。参拝した人々は、これを頂いて帰り、大切にしまっていて、具合が悪くなった時(病気の時)に削っていただくことにしている。(旭町誌上巻より抜粋)

大正中期以後は神社の女人禁制もなくなり、遠藤家が継承していたことは、下和田地区の方々に依って現在も引き継がれているそうです。

つぬです!

なんでも  
桃や  
戦





# 長生きの水

—「防六をあおぎて」より—

(重富の名水所・水くら)

蒸し暑い夏の盛り。山々にセミの声がうるさい。

そんな中を、気の短い男と気の長い女の夫婦が重富から石浦峠への道を汗だくになって急いでいた。男が先に立って登って行く。しかし女はマイペースだ。ゆっくりゆっくりと・・・それを振り返りながら、男はイライラしていた。「急がんと今日中に大塚に着かんで！お前は足が遅い、もっと早く歩けんのか！」「あんたが早すぎるのよ、大塚は逃げやせんケェ・・・アハハ！」と女が笑う。



そんな二人はやっとのことで、水の湧き出る「水くら」に着く。冷たい山水がのどを潤す。ここは石州一の名水の湧き出ている所だ。「旨い～！やっぱりここの水は石州一だ、フゥ～長生きできる長寿の水だ」それを聞いて女が笑い出した。「アハハ、あんた長生きしたいの？」

「当り前じゃないか！バカ」「そんなじゃ、そんなら怒っちゃいけんわあなあ」「お前が怒らせているんじゃないか！」「長寿の水もいいけど怒ったら長生きできんでェ」「何！」「胃袋の壁は笑うとピンク色になり、泣くと白くなり、怒ると血がにじみ出るっていうわ。だから私のように笑っていたほうが長生きできると思うよ。」「ヘエ～そうかい・・・」と面白くない顔だ。「昔から女は愛嬌っていうけど女が男より長生きできるようにできているのね！」「だからって、バカみたいにヘラヘラ笑ってられるか！」「それ！それヨ、バカみたいになっていうけど、バカは長生きするっていうじゃないの」「又、屁理屈こきやがって！」と益々怒鳴る。「ほら又、命が短くなった。アハハ」

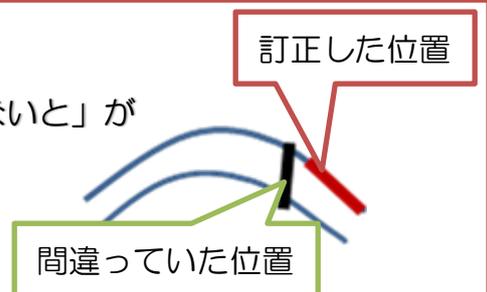
こんな凸凹夫婦もやがて「水くら」の水を飲んで石浦峠を登り都川へと下って行った。(その後この夫婦のどちらが長生きしたか定かではない)(文・絵 佐々岡健次)



なるほど～、笑っていると血の循環がいいから  
病気にもなりにくいのね・・・  
だから長生きできる訳か～、分かるねエ～

## ★お詫びと訂正★

◎第10号「四十九」の文章、上から3行目の「すべり坂を登らないと」が「すべり坂を下らないと」に、第12号の「休石」の図の中の金網の位置が間違っていました。お詫びして訂正いたします。



## ベンソン陽子の海外便り 第5回



### アメリカの誕生日パーティー



先日、ベンソン家では長女の誕生日パーティーを行いました。ローラースケート



とってもゴージャスなケーキです！

が好きな長女のことを考えて、ローラースケート場を借りて行うことに決めました。こちらでは子供だけでなく大人も盛大に誕生日を祝う習慣があります。たまたま今年は長女の誕生日が金曜日だったため、金、土、日曜日と3日続けて祝うことになりました。金曜日は学校にカップケーキを持って行ってクラスのみなどと一緒にお祝い、土曜

日は仲の良い友達と誕生日パーティー、日曜日は家族でお祝い、と長女も大喜びでし

た。パーティーの準備としては、スケート場が飾りやテーブル、食べ物の設定をしてくれるので、こちらが持っていくものはケーキとアイスクリーム（北アメリカではケーキとアイスクリームを一緒に食べるのが普通です）ぐらいでした。今回は長女が自分でケーキのデザインをしたいということで、ウェブサイトからどのデザインと色、味にする



スケート靴がアメリカっぽいですね

か検討して予約を入れました。（写真では見えないのですが、2段のケーキで、上がチョコレート味、下はイチゴ味にしました）

パーティーの流れとしては、最初にローラースケートをして、おなががすくころスナック（ピザとポテトチップスなど）を食べて、またスケート、その後ハッピーバースデーの歌を歌ってケーキ

を食べる、という感じです。

西洋では、プレゼントをみんなの前で開けるとするのが習慣なので、最後はプレゼントを開けておしまいになりました。6月は長男の誕生日ですが、彼はもう16歳になりますので、派手な誕生日パーティーはいらぬというかもしれません。なんせ10代の子は微妙ですので・・・もしパーティーをすることになればまた報告いたしますね！（文・写真 ベンソン塚崎陽子）



## 公民館からのお知らせ

3月31日付けで岡本嗣喜館長が退任されました。地域の為に日々ご尽力頂きましたことに対し深く感謝を申し上げます。尚、後任には本郷の早田（わさだ）末男さんが就任されました。新しい体制の公民館に今後共ご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。和田公民館職員一同

### 小学生人権標語テスト入選作品

# 悪口は まわりの空気 こわしちゃう

### 館長の今月の一言

こんにちは！初めまして、早田（ワサダ）と申します。  
4月より、前岡本館長より館長業務を、引き継ぐことになりました。  
平成10年に、大阪より1（アイ）ターンし、旭町本郷に住んでいます。旭町の事、和田地区の事、現在も勉強中です。  
是非公民館に立ち寄って、昔の事、これからの事などご指導頂ければ嬉しいです。どうぞよろしく願いいたします。



次は

～つぬちゃんのこんなのやりましたコーナー～



平成28年度ふるさと再発見事業で中学生や県大の学生さん、地域の方にご協力頂いて和田地区のマップを作成しました。「和田の中学生が選んだ和田自慢マップ」と「和田地区丸わかりマップ」です。どちらとも公民館玄関ホールに掲示してありますので、ぜひご覧ください。



### あとがき

今年は遅くまで寒かったせいか、暖かくなったとたん春の花が一気に満開を迎えたように感じます。ヒガンザクラ、ソメイヨシノ、水仙、桃、レンギョウ、山桜などが美しく咲揃い胸が弾みます。ところが、残念なことに閉校記念に植えられた桜の木はまだほんの数本しか花をつけていません。途中で枯れてしまった木もあり、まちづくりの総務企画部会の皆さんが植え替えをしたり、肥料をやったりしておられますがなかなか手が回らないのが現状です。中学生が選んだ和田自慢にも旧和田小学校の桜が何人もありました。和田自慢の桜並木が早く見られるにはどうしたらいいのか、皆さんの知恵をお借りしたいです。（美）